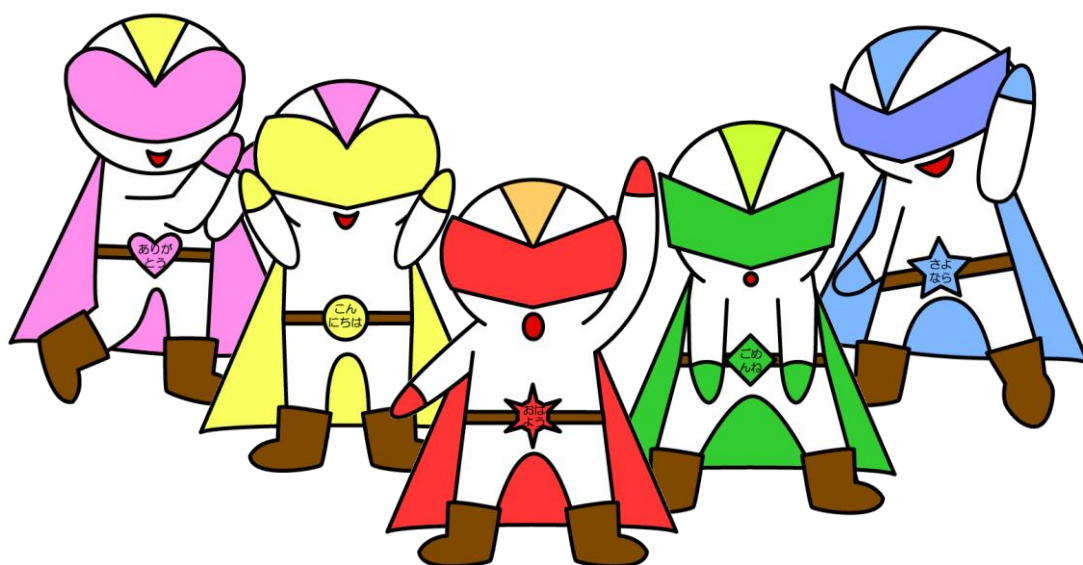


令和5年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果



令和5年12月
海老名市立有馬小学校

令和5年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

- (1)教科に関する調査【国語、算数・数学、英語(中学校3学年のみ)】

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

 - ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
 - ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

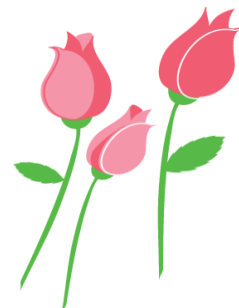
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和5年4月18日(火)

※児童生徒質問紙調査(一部)について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



小学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・情報と情報との関係を捉えたり、グラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したりすることができるかどうかをみる。
- ・目的に応じて必要な情報を見付けたり、情報を関係付けて整理したりして、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。
- ・話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 説明文を読み、文章の構成について選択肢の中から適切に選ぶことができます。
- 書き込みの入った資料を見て、情報をどのように整理しようとしたかを読み取り、適切に説明している語句を選ぶことができます。
- インタビューの様子から、質問者の聞きたいことの中から適切に捉えることができます。

◆課題のある点

- 文章を読み、ひらがなを漢字に書き直すことに課題があります。
- 目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけることに課題があります。
- 記述式の問題で、複数の条件を満たして文章を書くことに課題があります。
- 日常よく使われている敬語の理解について課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 自分の考えを文章に表す活動を継続的に行いながら、構成や文型を意識した文章が書けるように指導していきます。
- 文章を書く際に日常的に習った漢字を使えるように指導します。
- 日常的な会話の中で、敬語を正しく使えるように声をかけていきます。

小学校 算数

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・日常生活の場面の数量の関係に着目し、伴って変わる二つの数量の関係について考察できるかどうかをみる。
- ・基本的な図形の内容や直線の位置関係について理解し、図形を構成する要素などに着目して図形の性質や図形の計量について考察できるかどうかをみる。
- ・数量の関係に着目して問題場面を解釈し数学的に表現・処理したり、計算に関して成り立つ性質を基に計算の仕方を考えたりすることができるかどうかをみる。
- ・日常生活の問題を解決するために、目的に応じて、表やグラフからデータの特徴や傾向を捉えることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 図形の性質や意味をおおむね理解し、発展的な問題に正答できています。
- 日常における問題に対して、よりよい求め方を考え、式や言葉を用いて説明することができています。
- 二つのグラフを比較して、違いを見出し、手本となる文章をもとにして、違いについて説明することができています。

◆課題のある点

- 等積変形の仕組みが理解できていても、その理由を説明することに課題があります。
- $(2\text{位数}) \div (1\text{位数})$ の筆算の仕方を機械的に覚えていて、その原理についての理解に課題があります。
- 「以上」「以下」「未満」という言葉が示す数の範囲の理解に課題があります。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 作業的な学習だけでなく、どうしてそのような解法になるのか、式や図を用いて論理的に考えられるように指導していきます。
- 文章問題を読むことに慣れ、その意味内容を理解した上で、図や表などに表しながら思考していく力を身に付けられるように指導していきます。
- 算数で学んだことを、他教科や日常生活の中でも活用できるように働きかけていきます。
- 算数用語の理解や数を扱う力など、基礎基本の定着を目指します。

児童質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 話し合い活動で自分の考えと友だちの考えを比べて考えたり、発表の場で自分の考えを相手に分かりやすく伝える方法を工夫したりすることを楽しみながら学習しています。
- 学習内容のまだ理解していないことに対し、分かるまで取り組もうとする姿勢が見られます。
- 国語の学習では、将来、社会に出たときに役に立つことを理解して、意欲的に学習している児童が多くいます。

◆本校の課題と思われるところ

- 読書への関心がある児童もいますが、学校の授業時間外に読書の時間をとる児童の割合が少なく、文章の読み取りや理解、文章記述に時間がかかる傾向にあります。
- 授業で学んだことをほかの学習に生かしていくことに課題があります。
- 算数では、言葉や式、数を使って説明をする等の問題を解くことに難しさを感じている児童がいます。

生活について

◆本校のよかったところ

- 自分のよいところを認めてもらっていると意識している児童が多くいます。
- 人の役に立つ人間になりたいと考え、人が困っているときには進んで助けている児童が多くいます。
- 外国の人と友だちになりたい、外国のことを知りたい、自分の国や地域のことを知って欲しいと思っている児童が多くいます。

◆本校の課題と思われるところ

- 地域や社会をよくするために何かしてみたいという思いをもった児童は多くいますが、自分の地域の行事に参加する児童の割合は少なめです。
- 話し合い活動は意欲的に参加する傾向にありますが、話し合い活動を受けて、自分の考えを深めたり、自分の目標等の見直しをしたりする児童の割合は少なめです。

今後の具体的な取組について

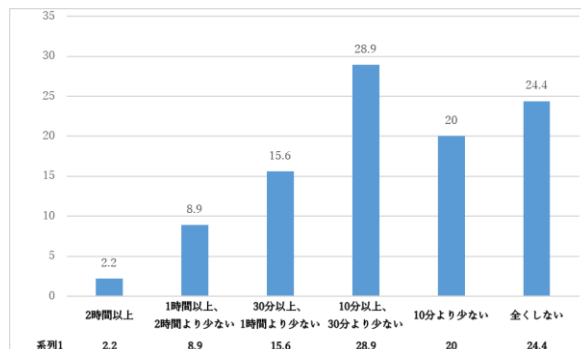
- 語彙力や知識を増やし、また文章を読み取ったり、説明したりする力を付けていくために、本や新聞を読むことへの興味を高め、読書量を増やすような取り組みをしていきます。
- 学んだことを様々な学習や生活の場面で生かせるように、今後も知識の定着を図ることや、教科の横断的な取り組みを大切にしていきます。
- 学習や体験活動、話し合い活動の後に、今後も振り返る時間をとり、自分の考えを表現する機会や学びを広げる機会をとっていきます。
- 地域とのつながりを大切にしたい取り組みを行い、自分たちの住んでいる地域に目を向け、大切にしたいという思いを育てていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の児童質問紙の結果です。

1 読書への興味が高まるように働きかけましょう。

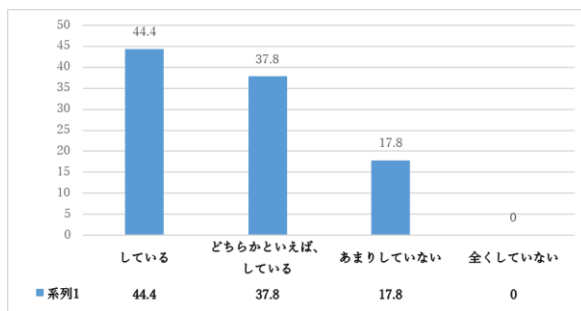
本や新聞を読むことで、語彙や知識が増え、様々な価値観等に触れる機会になります。また、文章を読んだり書いたりすることへの苦手意識が減ってきます。機会を捉えて読書への興味が高まるように声をかけましょう。



学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書しますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)

2 規則正しい生活習慣を継続していきましょう。

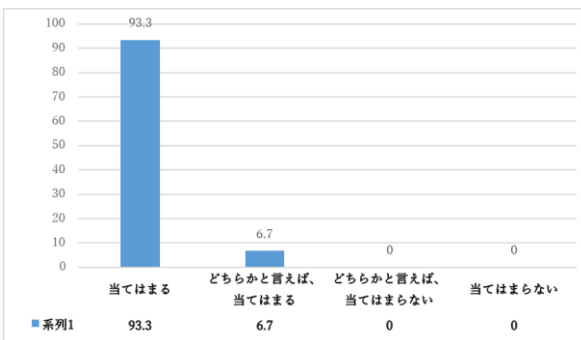
朝食を毎日食べる、毎日同じくらいの時刻に寝る、起きることができています。規則正しい生活は子どもの健康面や学習意欲に大きく影響しますので、よい習慣が今後も継続するようにご協力をお願いします。



朝食を毎日食べていますか

3 これからも子どもたちのよさを認めていきましょう。

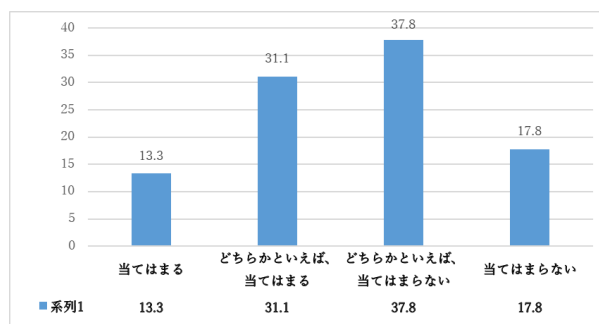
周囲の大人から自分のよさを認めてもらっている、人の役に立つ人間になりたいと思っている割合が高めです。これからも子どものよいところを認め、自分のために、人のために行動しようとする意欲を育てていきましょう。



人の役に立つ人間になりたいと思いますか

4 地域の行事に積極的に参加しましょう。

地域の行事に参加している子どもの割合が低めです。地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う子どもたちは多くいますので、地域への関心がより高まるように地域の行事に参加していきましょう。



今住んでいる地域の行事に参加していますか

文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 指導改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

2. 英語の学習指導の改善・充実

- 海外の学校等との国際交流や協働的な学習の推進
- 科学技術人材の育成

3. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 国費による学校 DX 戦略アドバイザーの派遣等による支援
- 切れ目のない研修コンテンツの提供

4. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

5. 学校における指導・運営体制の充実

- 小学校における35人学級の計画的整備や高学年教科担任制の推進等のための教職員定数の改善
- 教員業務支援員や学習指導員等の支援スタッフの充実

6. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和5年度調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



多様性を受け止め、多様性を生かし、えびなっ子ひとりひとりの学びを保障する教育をめざします



3つの重点

- ①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③特色ある学校づくりの推進

①授業改善の実践

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- 今日的な教育課題であるプログラミング教育、外国語教育、キャリア教育などを実践します
- 学校ICTを有効に活用します
- 市教育委員会として、実践のために必要な学校へのサポートを行います(予算確保や環境整備、教職員向けの研修など)

【市の結果についての問い合わせ先】
電話 046-235-4919
海老名市教育委員会教育支援課 指導係